

ヤマクルマガイ

Spirostoma japonicum japonicum (A.Adamus)
新生腹足目・ヤマクルマガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生息条件が著しく悪化し、危機的水準まで減少している。過去におおい町以西で多数が標本として残されたが、近年の確認は激減している。

分 布

中部以南の本州、四国、九州に分布する。県内では、おおい町以西の暖温帯自然植生地に分布する。

種の特徴

殻高6mm前後、殻径12mm前後で硬質な円盤型の右巻きの貝類。殻は平滑でやや光沢のある黄褐色。軟体部は灰褐色。タブノキやウバメガシ等の林の落葉下に生息する。

生息を脅かす要因

多少の乾燥には耐えるが、林道建設等による生息環境の改変や極度の乾燥化が主な減少の要因である。

参考文献 福井県編（2002）、福井県自然環境保全調査研究会編（1985）、東（1995）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○														

ヤマメタニシ

Fukuia integra Pillsbry
新生腹足目・クビキレガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅰ類

選定理由

日本の固有種。県内の和泉村朝日、越前町六所山、武生市鬼ヶ岳でも生息が確認されていた。最近では、池田町田代周辺でも新たに確認された。微小種であるため、生息域の詳細、個体群が不明で今後の調査を待たなければならない。

分 布

本種は、島根県枕木山から隠岐、山陰、北陸を経て、北限の秋田県田尾閉山に分布する。県内では新たに、標高400m池田町田代周辺の落葉広葉樹林床草本上で確認された。

種の特徴

殻長4.5mm、殻径3.0mm、螺層5.0層の高円錐形の微小貝。体層周辺部は円い。臍孔は小さく開く。殻は薄く小施型。雌雄異体。雄陰茎は軟体部中央に位置し、前方に伸びて逆行して先端に細く伸びる。

生息を脅かす要因

県内の確認地では、スギ・ヒノキ植林地の間伐、また、搬出林道造成、個人所有地の管理不足等遷移による乾燥化が本種の存続を脅かす要因である。

参考文献 湊（1980）、環境省編（2014）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○		○			●				●	

ニクイロシブキツボ

Fukuia kurodai Abbott & Hunter
中腹足目・イツマデガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

福井県坂井市竹田がタイプ産地。県内ではほかの生息地も確認できず、現在ではタイプ産地も、雪崩防止工事や砕石場の建設、マニアの採集圧で、生息域や個体数が激減している。

分 布

本種は日本海側の京都府から近海要素を持ち、秋田県まで分布する。県内では、タイプ産地の坂井市竹田周辺のみ分布する。

種の特徴

フクイシブキツボより大型で、殻高9mm、殻径5mm、6層の幅広い卵型。殻色は光沢の赤褐色で硬質堅固。老成すると黄褐色になることが多い。縫合は深く、殻口は斜位で卵型。蓋はキチン質、半透明、やや厚く少旋型。

生息を脅かす要因

美しい陸貝は、マニアの採集圧にさらされている。そのほか、生活安全のための工事や、道路工事等で生息地域が縮小している。

参考文献 江川（1991）、金安（1975）、金安（1976）、湊（1979b）、湊（1973）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○				○						○